

平成26年度水道事業会計決算の状況

平成26年度の水道事業会計決算の事業概要、収益状況や施設の建設資金の内訳などお知らせします。

業務の状況

(平成27年3月31日現在)

給水人口	49,463人	給水戸数	20,412戸
年間総配水量	5,050,827m ³	一日最大配水量	15,344m ³

経営の状況

●収益的収支(税抜) / 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための経費と財源

◎収入 9億3,669万円



◎支出 7億1,414万円



*減価償却費には資産減耗費も含まれています。

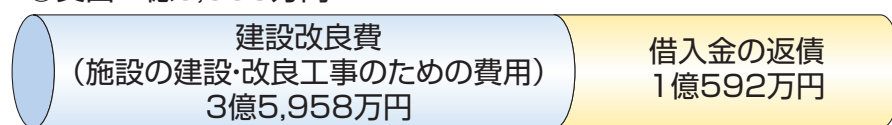
●資本的収支(税込) / 水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源

◎収入 2,067万円



市出資金 1,959万円 他会計負担金 108万円

◎支出 4億6,550万円



水道料金見合いの利益、減価償却費などは、資本的収入の不足を補てんする財源として、建設改良工事や借入金返済に使われます。

利益(黒字)はもうけではありません。

民間企業の場合、利益は株の配当などに使われますが、水道事業の利益は施設建設に要した借金の返済資金や水道施設の改良や更新の資金となります。

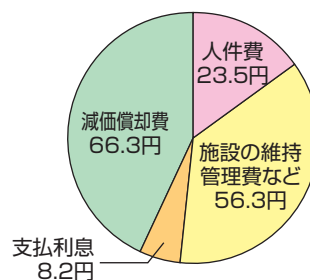
Q & A



1立方メートルの水道水をつくるためにどれくらいのお金がかかっているの？

水道水1立方メートルの費用を「給水原価」といい平成26年度の給水原価は154.3円です。内訳は右のグラフのように施設の維持管理費などと減価償却費が主なものとなっています。

給水原価(154.3円)の内訳



耐震化事業のあらまし

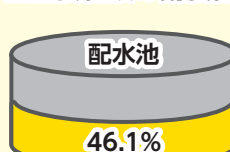
目的

災害に強い水道

■管路の耐震化率



■重要施設の耐震化率



■浄水施設の耐震化率

